

## 第2章 宍粟市の文化財概況

### 1. 指定等文化財

#### (1) 概要

本市の指定等文化財は、令和7年（2025）8月現在、122件です。うち指定・選定は115件（国2件、県22件、市91件）、選択は0件、登録は7件（国4件、県3件）です。

類型別では、有形文化財45件（建造物19件、美術工芸品26件）、民俗文化財17件（有形の民俗文化財9件、無形の民俗文化財8件）、記念物60件（遺跡14件、名勝地5件、動物・植物・地質鉱物41件）です。無形文化財、文化的景観、伝統的建造物群の指定等はありません。

表2-1 指定等文化財件数

（件、令和7年（2025）8月現在）

| 類型         | 国指定・選定 | 国選択 | 県指定 | 市指定 | 国登録 | 県登録 | 合計  |
|------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 有形文化財      | 1      | －   | 5   | 33  | 4   | 2   | 45  |
| 建造物        | 1      | －   | 0   | 12  | 4   | 2   | 19  |
| 美術工芸品      | 0      | －   | 5   | 21  | 0   | 0   | 26  |
| 絵画         | 0      | －   | 3   | 1   | 0   | 0   | 4   |
| 彫刻         | 0      | －   | 1   | 8   | 0   | 0   | 9   |
| 工芸品        | 0      | －   | 0   | 4   | 0   | 0   | 4   |
| 書跡         | 0      | －   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   |
| 典籍         | 0      | －   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 古文書        | 0      | －   | 0   | 6   | 0   | 0   | 6   |
| 考古資料       | 0      | －   | 1   | 0   | 0   | 0   | 1   |
| 歴史資料       | 0      | －   | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   |
| 無形文化財      | 0      | 0   | 0   | 0   | 0   | －   | 0   |
| 民俗文化財      | 0      | 0   | 3   | 13  | 0   | 1   | 17  |
| 有形の民俗文化財   | 0      | －   | 2   | 7   | 0   | －   | 9   |
| 無形の民俗文化財   | 0      | 0   | 1   | 6   | 0   | 1   | 8   |
| 記念物        | 1      | －   | 14  | 45  | 0   | －   | 60  |
| 遺跡         | 0      | －   | 5   | 9   | 0   | －   | 14  |
| 名勝地        | 0      | －   | 0   | 5   | 0   | －   | 5   |
| 動物・植物・地質鉱物 | ★1     | －   | 9   | 31  | 0   | －   | 41  |
| 文化的景観      | 0      | －   | －   | －   | －   | －   | 0   |
| 伝統的建造物群    | 0      | －   | －   | －   | －   | －   | 0   |
| 合計         | 2      | 0   | 22  | 91  | 4   | 3   | 122 |
|            |        |     |     | 115 |     | 7   |     |

★国指定特別天然記念物（地域を定めず）オオサンショウウオを含む。

※－：制度なし

地域別では、一宮町が40件と最も多く、ついで山崎町32件、千種町29件、波賀町20件です。一宮町は他地域と比べて美術工芸品のうち彫刻及び有形の民俗文化財が多く指定されているのが特徴です。

表2-2 地域別指定等文化財件数

(件、令和7年(2025)8月現在)

| 類型         | 山崎町 | 一宮町 | 波賀町 | 千種町 | 市全域<br>地域を定めず | 合計  |
|------------|-----|-----|-----|-----|---------------|-----|
| 有形文化財      | 18  | 17  | 8   | 2   | 0             | 45  |
| 建築物        | 7   | 6   | 4   | 2   | 0             | 19  |
| 美術工芸品      | 11  | 11  | 4   | 0   | 0             | 26  |
| 絵画         | 3   | 1   | 0   | 0   | 0             | 4   |
| 彫刻         | 0   | 6   | 3   | 0   | 0             | 9   |
| 工芸品        | 2   | 1   | 1   | 0   | 0             | 4   |
| 書跡         | 1   | 0   | 0   | 0   | 0             | 1   |
| 典籍         | 0   | 0   | 0   | 0   | 0             | 0   |
| 古文書        | 4   | 2   | 0   | 0   | 0             | 6   |
| 考古資料       | 1   | 0   | 0   | 0   | 0             | 1   |
| 歴史資料       | 0   | 1   | 0   | 0   | 0             | 1   |
| 無形文化財      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0             | 0   |
| 民俗文化財      | 1   | 8   | 4   | 4   | 0             | 17  |
| 有形の民俗文化財   | 0   | 6   | 0   | 3   | 0             | 9   |
| 無形の民俗文化財   | 1   | 2   | 4   | 1   | 0             | 8   |
| 記念物        | 13  | 15  | 8   | 23  | 1             | 60  |
| 遺跡         | 2   | 3   | 2   | 7   | 0             | 14  |
| 名勝地        | 2   | 0   | 0   | 3   | 0             | 5   |
| 動物・植物・地質鉱物 | 9   | 12  | 6   | 13  | ★1            | 41  |
| 文化的景観      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0             | 0   |
| 伝統的建造物群    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0             | 0   |
| 合計         | 32  | 40  | 20  | 29  | 1             | 122 |

★国指定特別天然記念物（地域を定めず）オオサンショウウオを含む。

## (2) 類型ごとの指定等文化財の特徴

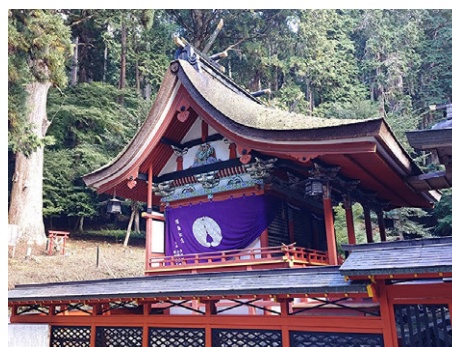
### 1) 有形文化財

#### ① 建築物

建築物は、国指定1件及び市指定12件、国登録4件及び県登録2件の19件が指定等されています。

御形神社本殿は、室町時代の建造で同時代の建築様式を示す貴重な建造物であり、市内唯一の国指定重要文化財です。

市指定のうち、山崎藩陣屋門（紙屋門）と左右の土塀は江戸時代の陣屋、興国寺山門は山崎城下町の建造物として貴重です。また、一里堂は、



【国指定】御形神社本殿  
(一宮町森添)

千種と山崎、三日月を結ぶ峠道の通行や民俗慣行にも関係する貴重な堂宇建築です。

その他、石造物は宝篋印塔8件、五輪塔1件があります。宝篋印塔は但馬地方との関連を示す技法を有するものがあり、特徴的な分布を示しています。

国登録は、城下町山崎の酒蔵通りに建つ江戸時代末の商家である中門前屋主屋及び前野家住宅（本家門前屋）店舗兼主屋・土蔵・西蔵があります。

県登録は、播磨国一宮で、江戸時代後期再建の上質な社殿である伊和神社本殿、及び国内の諸神を祀る総神殿の貴重な遺構である幣殿、また明治時代の司法制度を示す公的施設である山崎歴史民俗資料館があります。



【市指定】山崎藩陣屋門（紙屋門）  
と左右の土塀（山崎町鹿沢）



【市指定】一里堂  
（千種町下河野）



【国登録】中門前屋主屋  
（山崎町山崎）



【県登録】伊和神社本殿  
（一宮町須行名）

## ② 美術工芸品

美術工芸品は、県指定5件、市指定21件の26件が指定されています。

県指定のうち、彫刻の正福寺木造大日如来坐像は、平安時代末期の様式を示します。絵画の絹本著色圓空像、同婦人像、絹本墨画羅漢図はいずれも西光寺所蔵で、中世の仏教絵画の様式を示す例として貴重なものです。考古資料の四区袈裟襷文銅鐸（青木銅鐸）は、市内4例の銅鐸のうちで出土地が調査された稀有な例です。

市指定では、北部の一宮町、波賀町の古代、中世から近世の仏像彫刻群が特筆されま  
す。御形神社蔵の絹本著色釈迦三尊十六善神像は、仏教との関係性を示す絵画です。工  
芸品は、山崎八幡神社蔵の池田恒元寄進楽器・弓矢は、近世の工芸技術の優品です。古

文書のうち、宍粟安積家文書、田路家中世文書は中世の在地有力者の史料として欠かすことができないものです。山崎八幡神社文書「新町申付書」・「市日の定書」は、山崎城下町の淵源を示す一級史料です。山崎藩覚帳は山崎藩の藩庁日誌で、山崎と江戸日誌に分かれており、藩政のみならず町方や地方の動向等も記され全国的にもきわめて注目度の高い稀有な史料です。



【県指定】絹本著色婦人像  
(山崎町御名・西光寺蔵)



【県指定】絹本著色圓空像  
(山崎町御名・西光寺蔵)



【県指定】木造大日如来像  
(一宮町河原田・正福寺蔵)



【市指定】満福寺木造  
薬師如来坐像  
(一宮町百千家満・満福寺蔵)



【市指定】新田義貞寄進の梵鐘  
(一宮町須行名・  
神福寺、須行名自治会蔵)



【市指定】山崎藩覚帳  
(山崎町鹿沢・本多記念館蔵)

## 2) 民俗文化財

### ① 有形の民俗文化財

有形の民俗文化財は、県指定2件、市指定7件の9件が指定されています。

歌舞伎舞台として、県指定では河原田農村芝居堂及び大森神社の農村歌舞伎舞台、市指定では二宮神社及び八重垣神社の農村歌舞伎舞台があります。いずれも廻り舞台や優れた舞台装置を備えており、市北部は歌舞伎舞台が濃密に分布する地域として注目されます。

その他、市指定の伊和神社及び御形神社の絵馬は、神社に対する民俗信仰のみならず江戸時代の絵画技法や作者の活動を知るうえでも貴重な資料です。



【県指定】河原田農村芝居堂  
(一宮町河原田)



【市指定】巴御前勇戦図絵馬  
(一宮町森添・御形神社蔵)

### ② 無形の民俗文化財

無形の民俗文化財は、県指定1件及び市指定6件、県登録1件の8件が指定等されています。

県指定では、波賀八幡神社御幸祭があります。播磨内陸部では珍しい「一ツ物」を中心とする祭礼で、随所に中世的な要素を残す貴重な民俗文化財です。

市指定の横山、波賀八幡神社、原八幡神社、鷹巣に伝わるチャンチャコ踊りは、鉦や太鼓を打ち鳴らしながら児童が踊りを繰り広げることが特徴です。唄の歌詞には、中世に遡るものがあるとされ、かつてはさらに広い範囲で行われており、但馬地方と合わせて一大分布地域とされています。獅子舞も市内の各所で伝承されており、水谷明神社の獅子舞をはじめ大神楽系のものが主流で、宇原岩田神社奉納獅子舞は市内唯一の毛獅子かつ梯子獅子の演目があることが特筆されます。

県登録には、御形神社の御当祭があります。毎年3月3日の「開当祭」と同17日の「奉迎祭」で構成され、室町時代末期から伝承されてきたとされる作法が当時から継承されています。



【県指定】波賀八幡神社御幸祭  
(波賀町安賀)



【市指定】宇原岩田神社奉納獅子舞  
(山崎町宇原)

### 3) 記念物

#### ① 遺跡

遺跡は、県指定5件、市指定9件の14件が指定されています。

県指定の金谷山部古墳、一つ山古墳はいずれも中期の古墳で地域の盟主墳に位置付けられます。市北部は、鉄生産に関わる遺跡が数多く確認されており、高保木たたら（製鉄）遺跡は全国でも最も早く本格的な発掘調査が行われた製鉄遺跡で、中世の製鉄炉が確認されています。天兒屋鉄山跡は高殿跡を中心に各施設が石積で整然と区画された、市内で最大規模の近世のたたら製鉄遺跡です。

市指定は、揖保川最上流域の縄文時代から鎌倉時代までの拠点集落で各時代の多くの住居跡等が確認された家原遺跡があります。伊和中山古墳群は、播磨国一宮伊和神社の東方の丘陵上に位置し、うち1号墳は全長約62mの前方後円墳で主体部の竪穴式石室の木棺内からは銅鏡1面、素環頭大刀1点、鉄剣3点、鉋1点、碧玉製勾玉1点、同管玉3点、滑石製勾玉3点、同小玉120点、竪櫛8点が、木棺外からは鍔1点、鉄鏃群、鉄斧等が出土しています。製鉄遺跡では、荒尾鉄山跡も天兒屋鉄山跡に匹敵する規模と構造を有するたたら製鉄遺跡であり、森の上鉄穴流場は、原料の砂鉄を選鉱する石組溝の遺構です。



【県指定】天兒屋鉄山跡  
(千種町西河内)



【県指定】金谷山部古墳  
(山崎町金谷)



【市指定】家原遺跡  
(一宮町三方町)



【市指定】伊和中山古墳群  
※写真は1号墳（一宮町伊和）

## ② 名勝地

名勝地は、市指定が5件あります。

比地の滝をはじめとした滝（瀑布）が4件あり、本市の自然環境の特徴を示します。

与位の洞門は、その自然的要素のみならず、明治時代に掘削された洞門が付加されることによって一層の奇勝となっており、また近代の土木遺産としての価値も有しています。



【市指定】与位の洞門  
(山崎町与位)

## ③ 動物・植物・地質鉱物

動物・植物・地質鉱物は、国指定1件、県指定9件、市指定31件の41件が指定されています。

オオサンショウウオは、地域を定めない国の特別天然記念物で、本市の清流を象徴する貴重な動物です。

森林資源が豊かな本市にふさわしく、巨樹・巨木や神社の社叢が多数指定されており、県指定の大歳神社のフジ、山崎八幡神社のモッコク、岩上神社の夫婦スギ、庭田神社のケヤキの大木、安積のカヤの古木、火魂神社の大ムクノキ、小野の大トチノキ、中宮神社の大スギは、いずれも県内屈指の巨樹・巨木として知られています。

市指定の桓武伊和神社、与位神社、日野神社、上野宝殿神社、大森神社、三室神社、八重垣神社の社叢は、地域の精神的象徴である神社とともに、鎮守の森としてその景観が大切に守られてきたものです。その他希少な植物として、塩田明証寺のイワヒバ群生地、倉床カタクリ群生地、横山カタクリ群生地、御形神社のショウフクジザクラ、教福寺のオハツキイチョウ等があります。

市指定の千町岩塊流は、一宮町北東部の朝来市との境付近に位置します。最終氷期の周氷河作用で形成された、全長約600mにも及ぶ全国最大規模の岩塊の堆積地形として特筆されるものです。



【県指定】大歳神社のフジ  
(山崎町上寺)

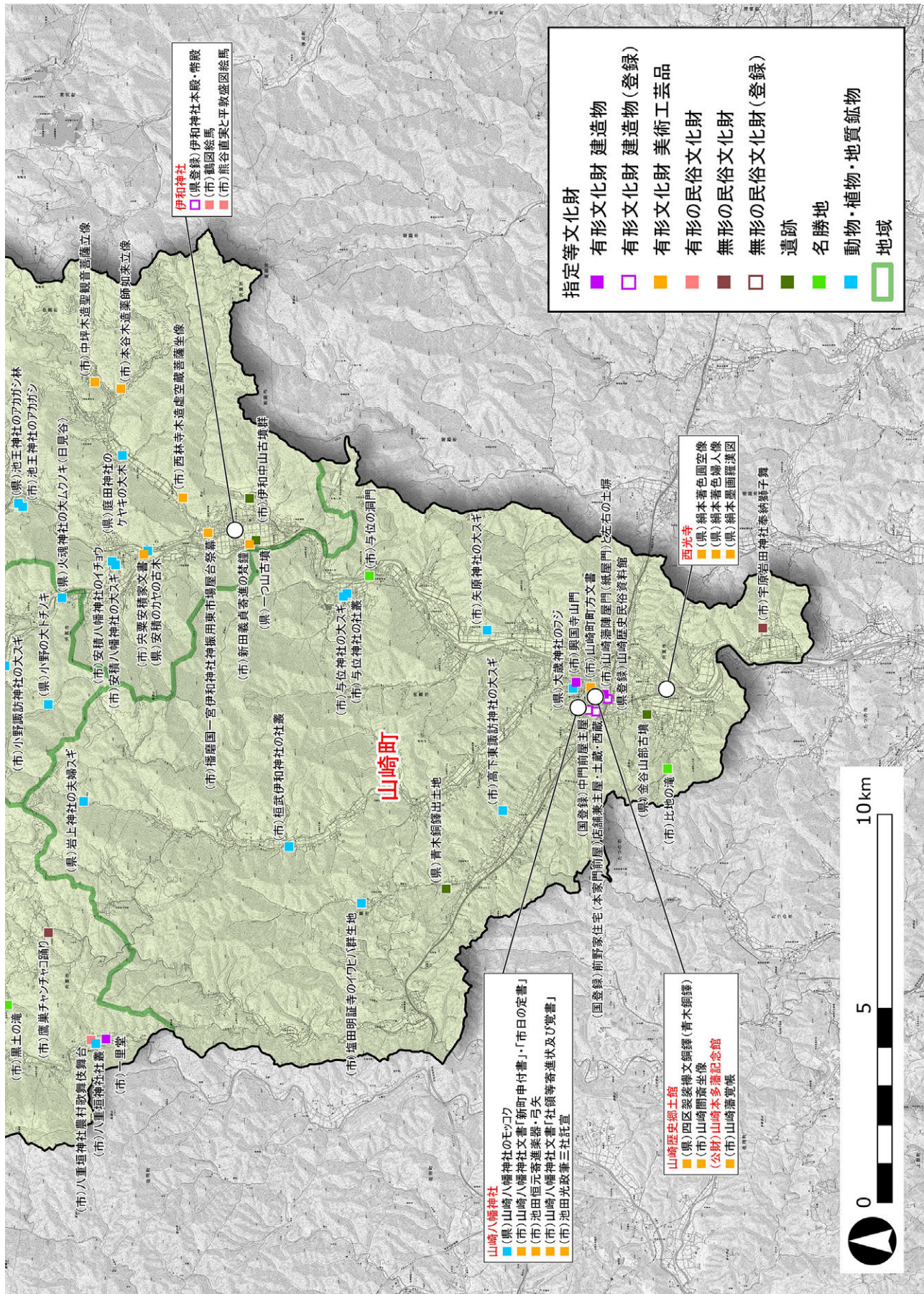


【市指定】御形神社の  
ショウフクジザクラ  
(一宮町森添・御形神社)



【市指定】千町岩塊流  
(一宮町千町)





背景地図：国土地理院 ※国特別天然記念物「オオササシヨウウオ」(地域を定めず)を除きます。

図2-1 央栗市 指定等文化財分布図

### (3) 文化財の保存技術

文化財の保存技術は、文化財の保存のために欠くことのできない伝統的な技術または技能であり、国は保存の措置を講ずる必要があるものを選定保存技術として選定することができます。(法第 147 条)

令和 7 年（2025）8 月現在、本市において文化財の保存技術として選定された技術はありません。

## 2. 未指定文化財

### (1) 概要

令和7年(2025)8月現在、把握している本市の未指定文化財は4,270件です。

類型別では有形文化財が2,081件と最も多く、うち建造物1,633件、美術工芸品448件(絵画45件、彫刻110件、工芸品131件、書跡3件、典籍10件、古文書80件、考古資料38件、歴史資料31件)です。

次いで、記念物が1,353件で、うち遺跡931件、名勝地169件、動物・植物・地質鉱物253件です。民俗文化財は708件で、うち有形138件、無形570件です。文化的景観9件、伝統的建造物群1件、その他118件で、無形文化財は把握ができていません。

表2-3 未指定文化財件数

(件、令和7年(2025)8月現在)

| 類型         | 山崎町   | 一宮町   | 波賀町 | 千種町 | その他 | 地域            |    | 合計    |
|------------|-------|-------|-----|-----|-----|---------------|----|-------|
|            |       |       |     |     |     | 市全域<br>地域を定めず | 市外 |       |
| 有形文化財      | 709   | 512   | 428 | 417 | 15  | 10            | 5  | 2,081 |
| 建造物        | 477   | 430   | 332 | 394 | 0   | 0             | 0  | 1,633 |
| 美術工芸品      | 232   | 82    | 96  | 23  | 15  | 10            | 5  | 448   |
| 絵画         | 38    | 6     | 1   | 0   | 0   | 0             | 0  | 45    |
| 彫刻         | 26    | 13    | 68  | 3   | 0   | 0             | 0  | 110   |
| 工芸品        | 95    | 19    | 7   | 10  | 0   | 0             | 0  | 131   |
| 書跡         | 3     | 0     | 0   | 0   | 0   | 0             | 0  | 3     |
| 典籍         | 8     | 1     | 0   | 0   | 1   | 1             | 0  | 10    |
| 古文書        | 32    | 28    | 14  | 3   | 3   | 2             | 1  | 80    |
| 考古資料       | 17    | 10    | 3   | 6   | 2   | 0             | 2  | 38    |
| 歴史資料       | 13    | 5     | 3   | 1   | 9   | 7             | 2  | 31    |
| 無形文化財      | 0     | 0     | 0   | 0   | 0   | 0             | 0  | 0     |
| 民俗文化財      | 189   | 275   | 136 | 96  | 12  | 12            | 0  | 708   |
| 有形の民俗文化財   | 60    | 51    | 17  | 9   | 1   | 1             | 0  | 138   |
| 無形の民俗文化財   | 129   | 224   | 119 | 87  | 11  | 11            | 0  | 570   |
| 記念物        | 496   | 329   | 300 | 226 | 2   | 2             | 0  | 1,353 |
| 遺跡         | 380   | 178   | 198 | 175 | 0   | 0             | 0  | 931   |
| 名勝地        | 36    | 64    | 42  | 27  | 0   | 0             | 0  | 169   |
| 動物・植物・地質鉱物 | 80    | 87    | 60  | 24  | 2   | 2             | 0  | 253   |
| 文化的景観      | 0     | 5     | 3   | 1   | 0   | 0             | 0  | 9     |
| 伝統的建造物群    | 1     | 0     | 0   | 0   | 0   | 0             | 0  | 1     |
| その他        | 46    | 49    | 12  | 11  | 0   | 0             | 0  | 118   |
| 合計         | 1,441 | 1,170 | 879 | 751 | 29  | 24            | 5  | 4,270 |

## (2) 類型ごとの未指定文化財の概要

### 1) 有形文化財

#### ① 建造物

建造物は、兵庫県の歴史的景観形成地区指定を受けた重点文化財活用地区に伴う調査により山崎町山崎地区の旧山崎城下町の社寺、町家等の歴史的建造物が把握されています。多くは近代の建造物ですが、中には江戸時代に建てられ城下町の様子を残すものもあります。

石造物は、宝篋印塔、五輪塔、供養塔等の信仰関係のものがあり、特に宝篋印塔は波賀町、千種町を中心として市内各地に優品が所在しています。供養塔は、六十六部廻国塔、光明真言供養塔、万霊塔等があり、特に六十六部廻国塔は近世の廻国巡礼の実態を知る貴重な石造物です。

土木構造物は、草木ダムや引原ダム、発電所等の本市の近代化を物語るものや、井堰や堤防等の農耕や防災に関わるものがあります。



町家  
(山崎町山崎)



草木ダム  
(一宮町草木)

#### ② 美術工芸品

美術工芸品は、神社や寺院、個人所有のものがあるほか、多くの貴重な絵画や工芸品等が(公財)山崎本多藩記念館に所蔵されています。

山崎町中野の桓武伊和神社に所蔵されている仏像は、専門家の調査により平安時代後期のものと考えられています。

工芸品は、個人の調査により梵鐘類を把握しています。特に江戸時代の金屋鋳物師の作品が多く残されているのが特徴です。

古文書は、個人、社寺、自治会所蔵のもの等があります。山崎町千草屋平瀬家文書は江戸時代の鉄山経営に関わるものです。一宮町閩賀区有文書は平成21年(2009)の洪水被害の水損から救出された史料です。

考古資料は、各遺跡の発掘調査出土資料や山崎町大沢の円通庵の埴仏、田井遺跡の銅鐸形土製品、一宮町安黒御山古墳群出土の短甲等があ



阿弥陀如来坐像  
(山崎町中野・桓武伊和神社蔵)



安黒御山古墳群出土短甲  
(宍粟市歴史資料館蔵)

ります。

歴史資料は、江戸時代から明治時代の高札、神社の棟札等が把握されています。大正8年（1911）に創刊された山崎新聞は、三木露風が多くの作品を寄稿するなど、文芸欄を充実させた地方新聞として貴重なものです。

## 2) 無形文化財

無形文化財は、把握ができていません。

## 3) 民俗文化財

### ① 有形の民俗文化財

有形の民俗文化財は、神社の境内に建てられた舞台（芝居堂、歌舞伎舞台）があり、かつては村芝居や播磨地域に盛んに行われていた歌舞伎等が演じられていました。一宮町福野の三王神社には廻り舞台が残されています。

神社の拝殿等に掲げられた絵馬は、庶民の信仰や絵師の系譜等を探る貴重な資料です。

力石は市内の全域にみられ、集会所や仏堂等の人が集まる公共的な場所に置かれています。かつて地域の青年たちが一種の通過儀礼として力石を持ち上げて体力を養ったり、力くらべを行ったとされています。

波賀町道谷を生産地とする道谷笠は、周辺の山林に自生するウリハダカエデを原料とし、かつては雪深い地域の生活を支える重要な産業として、主に農閑期に製作されていました。現在は、わずかにその製作品が残されています。

その他、地域に残されていた農業や山林業に使われた道具、生活用具等の民具資料が、市内の収蔵施設に保管されています。



山崎新聞  
(宍粟市歴史資料館蔵)



三王神社舞台  
(一宮町福野)



力石  
(山崎町中広瀬)



道谷笠  
(波賀町道谷)

## ② 無形の民俗文化財

無形の民俗文化財は、年中行事や祭礼、伝承等の風俗慣習が旧町史誌や各機関の民俗文化財調査等により把握されています。年中行事や祭礼は、農作業といった生業や人々の暮らしと密接な関連があります。

伝統芸能は、獅子舞があります。市内で伝承されている獅子舞は、2人1組で舞う大神楽系獅子舞と呼ばれるものです。

民俗技術として稲作、畑作等の農耕や山林業に関わるものがありますが、その多くは記録に残されるのみとなっています。

## 4) 記念物

### ① 遺跡

遺跡は、埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されているもの（周知の埋蔵文化財包蔵地）が、令和7年（2025）8月現在481件あります。種類は、古墳が167件と最も多く、次いで遺物散布地147件、生産遺跡51件、集落跡38件です。地域別では、山崎町が276件と最も多く、次いで一宮町124件、波賀町41件、千種町40件です。山崎町では遺物散布地や城館跡、一宮町では古墳、波賀町では社寺跡、千種町では生産遺跡が比較的多く分布していることが特徴です。

また、兵庫県及び本市の分布調査によって、製錬・精錬場跡、砂鉄採取跡の製鉄関連遺跡が把握されています。

その他の遺跡は、埋蔵文化財包蔵地として周知されていない社寺跡や、地域をつなぐ古道や峠道、高瀬舟の船着場跡、渡し場跡等があります。波賀森林鉄道の軌道跡は、近代林業の発展を支えた産業遺産として貴重なものです。



御形神社の茅の輪  
(一宮町森添)



大歳神社の獅子舞  
(一宮町生栖)



塩地峠の古道  
(千種町下河野)



船元の渡し場跡  
(山崎町船元)

表2-4 周知の埋蔵文化財包蔵地

(出典:『兵庫県遺跡地図』を元に作成)

(件、令和7年(2025)8月現在)

| 種類        | 山崎町 | 一宮町 | 波賀町 | 千種町 | 合計  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 遺物散布地     | 123 | 13  | 4   | 7   | 147 |
| 集落跡       | 20  | 8   | 9   | 1   | 38  |
| 城館跡       | 15  | 8   | 3   | 4   | 30  |
| 社寺跡       | 4   | 0   | 8   | 0   | 12  |
| 古墳        | 84  | 71  | 11  | 1   | 167 |
| 生産遺跡      | 17  | 11  | 1   | 22  | 51  |
| 上記の複合     | 5   | 1   | 0   | 0   | 6   |
| その他の遺跡、墳墓 | 8   | 12  | 5   | 5   | 30  |
| 合計        | 276 | 124 | 41  | 40  | 481 |

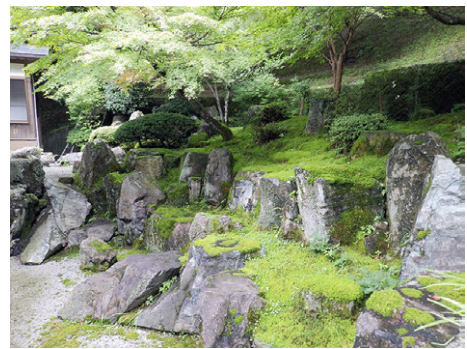
※指定等文化財(県指定、市指定)を除く。

## ② 名勝地

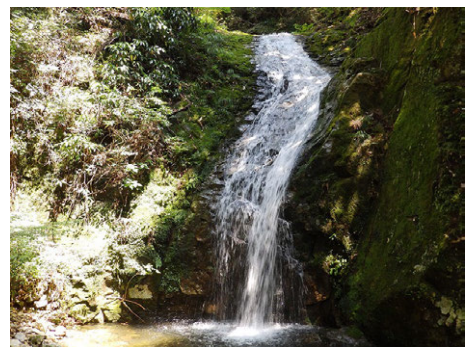
名勝地は、波賀町引原の長源寺の庭園、山崎町上ノの延ヶ滝、一宮町伊和の行者の滝、波賀町原の不動滝、千種町西河内の大釜の滝等、各地域に大小数多くの滝があります。滝は景観の観賞のみならず、信仰の対象としても地域に親しまれてきました。しろう 50 名山に代表される山岳は、景観のみならず、水源や山林資源をもたらす場所として地域の生活や信仰、歴史文化の形成と不可分な関係にあります。

一宮町福知溪谷、波賀町赤西溪谷、音水溪谷、千種町板馬見溪谷、鍋ヶ谷溪谷等も景観美を備えた名勝地です。

その他、各地に湧水があります。本市の豊かな自然環境からもたらされた名水として、地域の生活や信仰、文化を支えてきました。



長源寺の庭園  
(波賀町引原)



行者の滝  
(一宮町伊和)

## ③ 動物・植物・地質鉱物

市内には多種多様な動物が生息しています。希少種としてヒメボタルの生息地があります。

植物は、兵庫県や各種団体等の調査によって、巨樹・巨木の主要なものが把握され、鎮守の森として大切に守られてきた神社の社叢には、多様な植物の生育が認められます。

特徴的な地質として、一宮町福知溪谷泥炭層



山崎八幡神社社叢  
(山崎町門前)

や百千家満、上岸田の化石出土地、山崎町上ノ、千種町河内の岩塊流等があります。山崎断層帯、山崎町鹿沢段丘、一宮町三方町家原段丘等は地域の歴史文化の形成と密接な関係にある地形です。

### 5) 文化的景観

文化的景観は、一宮町山田、波賀町飯見の棚田があり、保全が図られています。

波賀町斉木や千種町西河内では、近世のたたら製鉄の原料である砂鉄を採取した跡である鉄穴流し地形が認められます。

### 6) 伝統的建造物群

山崎町山崎地区は、旧山崎城下町に由来する伝統的な町並みを形成しています。

### 7) その他

その他、6類型に含まれないものとして、暮らしや生業の中で伝承されてきた各地の伝承や言い伝え、方言等を町史誌や民話集等により把握しています。

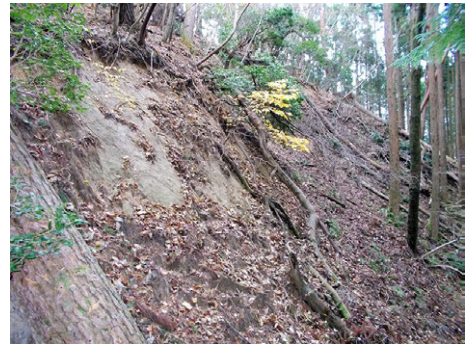
## 3. 関連する制度

### (1) つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～

本市は、山麓部の田畑の開発により形成された棚田景観が見られますが、その多くは過疎化による荒廃が進んでいるのが現状です。

農林水産省は、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対する理解と協力を得ることを目的として、優良な棚田を「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」認定を行っています。

本市では、一宮町山田、波賀町飯見の棚田が認定されています。



鉄穴流し地形  
(波賀町斉木)



大神「降臨処」の碑  
(一宮町森添)



山田の棚田  
(一宮町山田)



飯見の棚田  
(波賀町飯見)

## (2) 歴史的景観形成地区及び重点文化財活用地区

山崎町山崎地区は、元和元年（1615）の池田輝澄による立藩以来、山崎城下町として繁栄した地区であり、現在も通りや社寺、町家建築に往事を偲ぶことができます。

地区は、県の歴史的景観形成地区（一部は特に景観形成重点区域）及び重点文化財活用地区に指定され、景観形成重要建造物6件、国登録有形文化財4件、県登録有形文化財1件、市指定建造物2件があり、地域の活性化、観光の資源としても活用が図られています。



歴史的景観形成地区  
(山崎町山崎)

## (3) 推薦産業遺産

大正8年(1919)の開通から、昭和43年(1968)まで国有林の木材運搬に使用された波賀森林鉄道廃線跡には、コンクリート橋脚をはじめガーター橋、隧道、宿舎跡等が奥深い山中に残されています。波賀元気づくりネットワーク協議会では、地域活性化の活動の一環として波賀森林鉄道を活かした地域づくりを目標に遺構の保全や活用に取り組んでいます。

その活動が評価され、令和6(2024)年度に産業遺産学会(東京)の「推薦産業遺産」に認定されました。



波賀森林鉄道廃線跡の高橋  
(波賀町音水)

## (4) その他財団等の助成

その他、芸術文化の振興や文化財の保存を目的とした公益財団等の助成制度があります。

令和6(2024)年度、宇原獅子舞保存会が、少子高齢化や人口減少の中での持続可能な継承活動を高く評価され、(公財)ポークラ伝統文化振興財団より「伝統文化ポークラ賞・地域賞」を受賞しました。



伝統文化ポークラ賞の受賞  
(宇原獅子舞保存会)

## 4. 地域ごとの文化財の概況

### (1) 山崎町の文化財

山崎町は、市域の南部、揖保川の中流域に位置し、市の扇の要の位置にあたる都市的要素を備えた地域で、その町名は山稜の突き出た「さき」の平野に成立した近世の集落・山崎村に由来します。

河川沿いの河岸段丘上に縄文時代から弥生時代の遺跡が多くあり、昭和 35 年（1960）に青木で発見された四区袈裟襷文銅鐸（青木銅鐸）は、調査によって出土状況が明らかにされています（青木銅鐸出土地（県指定））。須賀沢では江戸時代の寛政 2 年（1790）に袈裟襷紋銅鐸が出土しましたが所在不明となっています。田井遺跡では、銅鐸を模倣して作られたとされる銅鐸形土製品が出土しています。金谷山部古墳（県指定）は長径約 20m、短径約 14mの楕円形墳で、中期の盟主墳と目されます。周辺には、平野部を取り囲むように金谷古墳群、三津古墳群等の多くの後期群集墳が築かれました。播磨千本屋廃寺跡は、市内唯一の奈良時代の寺院跡です。中世に、長水城や篠ノ丸城等が築かれ、宇野氏が地域権力として勢力を伸長していましたが、天正 8 年（1580）に羽柴秀吉により滅ぼされ、その後一時、黒田孝高が宍粟郡を領有した時期があります。西光寺所蔵の絹本着色圓空像、絹本着色婦人像、絹本墨画羅漢図（いずれも県指定）は、中世の仏教絵画として優れた作品であり、地方における宗派のあり方を示す資料でもあります。

山崎八幡神社文書「新町申付書」・「市日の定書」（市指定）は、近世初頭の山崎町<sup>まち</sup>整備や商業振興策を示す重要な史料です。元和元年（1615）に池田輝澄が宍粟藩を立藩し、山崎城下町の本格的な整備を行いました。揖保川岸の出石に船着場が設けられ、網干まで高瀬舟が通うようになりました。池田輝澄のあと、松井松平氏、池田氏の藩主の変遷を経て、延宝 7 年（1679）に本多忠英が山崎周辺のみので 1 万石で入封して山崎藩を立て、明治維新まで本多氏が藩主を務めることになりました。

山崎藩覚帳（市指定）は天明年間から慶応年間までの藩庁日誌で、国元及び江戸、大坂の日誌が残されています。山崎町町方文書（市指定）は、山崎町の町役人の日誌で町方の情勢を知るうえで貴重な史料です。池田恒元寄進楽器・弓矢附納箱、山崎八幡神社文書「社領等寄進状及び覚書」、池田光政三社託宣附納箱（いずれも市指定）等は、歴代藩主の尊崇が厚かった山崎八幡神社に伝わる美術工芸品です。中門前屋主屋及び前野家住宅（本家門前屋）店舗兼主屋・土蔵・西蔵（いず



【県指定】絹本着色圓空像  
（山崎町御名・西光寺蔵）



【市指定】興国寺山門  
（山崎町上寺）



【県指定】山崎八幡神社のモッコク  
（山崎町門前）

れも国登録)、山崎藩陣屋門(紙屋門)と左右の土塀(市指定)、興国寺山門(市指定)は、江戸時代の山崎城下町の面影を残す貴重な建造物です。

また、山崎歴史民俗資料館(県登録)は、明治22年(1889)に龍野治安裁判所山崎出張所として山崎町門前に建てられた庁舎を昭和47年(1972)に山崎城本丸跡に移築したもので、地方における近代司法の施設として貴重です。

植物には、「千年藤」として地域に親しまれ、貴重な観光資源となっている大歳神社のフジ(県指定)をはじめ、山崎八幡神社のモッコク(県指定)、岩上神社の大スギ(県指定)、矢原神社の大スギ(市指定)、与位神社の大スギ(市指定)、高下東諏訪神社の大スギ(市指定)等があります。

## (2) 一宮町の文化財

一宮町は、市域の中部から北東部、揖保川の上・源流域を占め、北東部は旧但馬国と境を接する地域で、その町名は、平安時代末期以来、播磨国一宮として地域から厚い信仰を集めた伊和神社が位置することに由来します。

縄文時代から弥生時代の遺跡は、主に河川沿いの河岸段丘上にあります。家原遺跡(市指定)は、揖保川と公文川の合流地点北方の河岸段丘上に営まれた縄文時代から中世にいたる大規模な複合遺跡で、揖保川の最上流域に位置し、但馬方面との交通の要衝を占める各時代の拠点集落跡です。伊和中山古墳群(市指定)は、全長約62mの揖保川最上流の前方後円墳を含む前期末から中期にかけての古墳群です。銅鏡や素環頭大刀といった多様な副葬品を有し、揖保川上流域の地域首長の古墳と考えられ、『播磨国風土記』に記される伊和大神を祭る伊和君氏に連なる人物の古墳と考えられます。一つ山古墳(県指定)は、長径約22m、短径約18mの円墳で、伊和中山古墳群(市指定)に続く古墳時代中期の盟主墳と目されます。

また、木造大日如来坐像(県指定)、西林寺木造虚空蔵菩薩坐像(市指定)、仏心寺木造聖観音菩薩立像(市指定)、満福寺木造薬師如来坐像(市指定)等の平安時代後期に遡る優れた仏像彫刻が多く残されます。

御形神社本殿(国指定)は、大永7年(1527)に建立された三間社流造、檜皮葺で室町時代後期の建築様式を伝える市内唯一の国指定重要文化財です。その他、中世の文化財として、三方町宝篋印塔(市指定)、河原田宝篋印塔(市指定)、上岸田宝篋印塔(市指



【県指定】一つ山古墳  
(一宮町安黒)



【市指定】黒原五輪塔  
(一宮町黒原)



【市指定】横山チャンチャコ踊り  
(一宮町横山)

定)、黒原五輪塔(市指定)等の石造品、中坪木造聖観音菩薩立像(市指定)、本谷木造薬師如来立像(市指定)、絹本著色釈迦三尊十六善神像(市指定)等の仏像彫刻、絵画が注目されます。

宍粟安積家文書(市指定)、田路家中世文書(市指定)は播但国境域を本拠とする地元有力者の動向を伝える貴重な古文書です。新田義貞寄進の梵鐘(市指定)は、江戸時代の再鑄になりますが、新田義貞と伊和神社の関係を示す歴史資料です。伊和神社は播磨国一宮で、本殿(県登録)は江戸時代後期再建の上質な社殿であり、幣殿(県登録)は国内の諸神を祀る総神殿としての特異な社殿形式を伝えています。

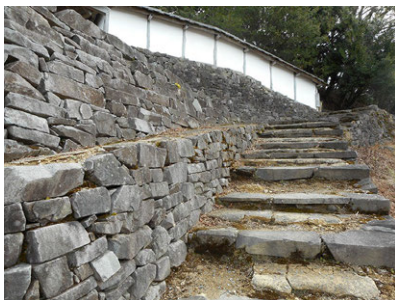
有形の民俗文化財の河原田農村芝居堂(県指定)は、廻り舞台や優れた舞台装置を備える代表的な農村舞台です。鶴図絵馬(市指定)、熊谷直実と平敦盛図絵馬(市指定)、百人一首図絵馬附由緒書(市指定)、左義長羽子板(市指定)、巴御前勇戦図絵馬(市指定)は民間での信仰習俗を示すとともに、絵画作品としても優れた作品です。無形の民俗文化財は、横山チャンチャコ踊り(市指定)及び御形神社の御当祭(県登録)があり、中世的要素を残す民俗芸能として保存継承が図られています。

植物は、庭田神社のケヤキの大木(県指定)、安積のカヤの大木(県指定)、池王神社のアカガシ(市指定)、安積八幡神社の大スギ(市指定)、千町のミズナラ(市指定)等の巨樹・巨木、稀少植物の倉床・横山カタクリ群生地(市指定)、御形神社のショウフクジザクラ(市指定)があります。その他、千町岩塊流(市指定)は、周氷河作用で形成された流紋岩質溶結凝灰岩の岩塊からなる稀少な堆積地形として特筆されます。

### (3) 波賀町の文化財

波賀町は、市域の北部、揖保川支流引原川の源流域を占め、北東部は旧但馬国、北西部は旧因幡国と境を接する地域で、その町名は『播磨国風土記』宍粟郡雲筒里「波加村」に由来します。

縄文時代の遺跡は、引原川左岸の河岸段丘上にある皆木神田遺跡で早期、前期の縄文土器、石器等が出土しています。弥生時代から古墳時代の集落跡は明らかではありませんが、上野周辺には宮路古墳(市指定)をはじめいくつかの後期古墳が知られています。中世には、南部に伯可荘、北部に蟾原荘が置かれました。波賀城跡(市指定)は、在地の芳賀氏、次いで武蔵国から西遷した中村氏の居城でした。発掘調査により、市内では珍



【市指定】波賀城跡  
(波賀町上野)



【市指定】齊木中村宝篋印塔  
(波賀町齊木)



【県指定】小野の大トチノキ  
(波賀町小野)

しい石積を持つことが確認されています。波賀八幡神社の太刀（市指定）は、天文9年（1540）に中村氏の同族である大河原氏が、備前長船の刀工勝光に作刀させたものです。

地域には、斉木名久城宝篋印塔（市指定）、斉木中村宝篋印塔（市指定）、飯見宝篋印塔（市指定）、原宝篋印塔（市指定）ほか未指定を含めて宝篋印塔の優品が多く分布しています。また、満願寺木造大日如来坐像（市指定）、安養寺木造阿弥陀如来立像及び両脇侍像（市指定）、長源寺木造如意輪観音坐像（市指定）といった、中世から近世にかけての仏像彫刻が各寺院に残されていることも大きな特徴です。

波賀八幡神社御幸祭（県指定）は、播磨内陸部では稀少な「一ツ物」の祭礼であり、お旅行列の役割構成や行列の中に鼻高、陣ザサラ、獅子頭が含まれるなど、中世的な芸能の要素を伝えています。波賀八幡神社チャンチャコ踊り（市指定）、原八幡神社チャンチャコ踊り（市指定）は、中世に淵源を持つともされる宍粟北部の特徴的な無形の民俗文化財です。

植物は、火魂神社の大ムクノキ（県指定）、小野の大トチノキ（県指定）、原八幡神社の夫婦スギ（市指定）、小野諏訪神社の大スギ（市指定）、野尻のノダフジ（市指定）といった巨樹・巨木があります。その他、波賀森林鉄道や引原ダムといった近代化遺産も多数残されています。

#### （４）千種町の文化財

千種町は、市域の北西部、千種川の源流域を占め、北は旧因幡国、西は旧美作国と境を接する地域で、その町名は『播磨国風土記』宍禾郡柏野里「敷草村」<sup>しきくさ</sup>に由来します。

北部の三室山の南麓緩斜面から、縄文時代早期の土器や石器が出土しました。弥生式住居跡（大森遺跡）（市指定）は、千種川と岩野辺川の合流地点に形成された河岸段丘上の弥生時代の拠点的な集落跡で、近傍から岩野辺（穴尾）銅鐸片が出土しています。奈良時代以来、鉄生産が行われたものとみられ、高保木たたら（製鉄）遺跡（県指定）で、中世の製鉄炉跡が確認されています。宍粟北部から産出された鉄は、中世以降「千草鉄」等の名称で、日本刀の原料として最高品質を誇ったといわれます。近世になると、総合的な鉄産業ともいえる「たたら製鉄」が盛んに行われ、天児屋鉄山跡（県指定）や荒尾鉄山跡（市指定）は、高殿を中心に各施設を石垣で区画した「山内集落」を形成する大規模なたたら製鉄遺跡です。森の上鉄穴流場（市指定）は、原料の砂鉄を選鉱する石組み溝



【市指定】荒尾鉄山跡  
（千種町岩野辺）



【市指定】一里堂  
（千種町下河野）



【市指定】カナベの滝(三室の滝)  
（千種町河内）

を良好に遺存する遺跡です。一里堂（市指定）は、千種の鉄を山崎方面に搬出するために整備された塩地峠の登り口に建立され、千種の鉄の流通を見守ってきた堂宇です。

宇野氏墓所（市指定）は、中世の宍粟を支配した地域権力宇野氏の終焉地に建立されています。板馬見修験行場（市指定）は、美作国境の後山の山岳修験行場です。

本市を含む西播磨は、近世以降、地芝居や村歌舞伎が盛んに行われた地域として知られ、大森神社の農村歌舞伎舞台（県指定）、二宮神社及び八重垣神社農村歌舞伎舞台（いずれも市指定）は、廻り舞台や優れた舞台装置を備えています。鷹巣のチャンチャコ踊り（市指定）は、宍粟北部特有の民俗芸能です。

小河内の滝（市指定）、カナベの滝（三室の滝）（市指定）、黒土の滝（市指定）は、千種町域を代表する名勝として特徴的なものです。その他、中宮神社の大スギ（県指定）をはじめ、円ノ元の大アスナロ（市指定）、教福寺のオハツキイチョウ（市指定）、仙光寺の大コウヤマキ（市指定）といった希少な植物も分布しています。